✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧

✧　平成 27 年度気象振興協議会定期総会の開催

気象事業や気象情報に関わる気象事業者や報道機関などの機関を会員として運営されている気象振興協議会の平成 27 年度定期総会が 7 月 17 日（金）15 時から四季交楽「然」（東京都千代田区）で開催されました。

総会では木本会長の挨拶に続き気象庁長官代理として気象庁総務部情報利用推進課の韮澤課長にご挨拶をいただきました。

総会議案は会員の異動報告の承認に続いて、平成 26 年度の事業報告（案）及び収支決算書（案）、平成 27 年度事業計画（案）及び収支予算書（案）は、原案通り満場一致で承認されました。

総会議事終了後、木本会長から発言があり会員である各事業者が気象庁から発表される各種気象情報をどのように活用しているのか及び気象情報への課題など事業者の現場見学と情報交換の場を要望され、見学等の機会を受けていただける事業者は事務局へ申し出いただくこととしました。

記念講演では、「来週の予報を利用しよう」と題して木本会長からの講演と気象庁　高野地球環境・海洋部長から「産業における気候情報の利活用に向けた取り組み」と題して共に平成 26 年度に開始された気象情報の産業利用促進のためのワークショップに関わる講演をいただいた。続いて（一財）気象業務支援センターによる「情報提供業務（オンライン）」における利用者の動向について、定村配信事業部長から ICT 化の促進、3.11 東日本大震災以降の危機管理対策の強化等によって当協議会会員以外の一般の利用者の増加が拡大しているとの説明がありました。